

地域医療調査研究特別委員会中間報告説明会（山北地域）議事録

当委員会では、これまでの調査研究内容を取りまとめた中間報告を各地域の区長会において説明し、当日、各区長会からの意見聴取を行ないました。

この説明会において聴取した意見を踏まえ、当委員会としての最終的な調査研究報告書の取りまとめを行い、当市における地域医療の抱える課題や問題等の克服に向けての施策を行政に提言することとしています。

以下に、各地域で開催した説明会の議事録（簡易）を記載し、意見聴取の状況についての経過を説明します。

山北地域 [平成24年2月2日(木)] さんぼく会館

出席議員：板垣一徳委員長、長谷川孝副委員長、板垣千代子委員、鈴木いせ子委員、相馬エイ委員（5名/12名）

議事録(簡易)

Q 現在の厚生連村上病院が移転するという話で旧ジャスコ跡地がだめだというお話ですが、現在何ヶ所くらい場所を選定して、いつ頃場所が決定するとかそういった目安はあるのですか。

委員長 先ほど申し上げましたが、9月の定例会において調査の内容について市長から発表がありまして、いわゆるジャスコ跡地はだめですということに決定しました。その他の場所については、いわゆる厚生連（の病院用地のことであるので）あるいはこの地域医療調査研究特別委員会の中で特別議論はしていませんので、村上病院の中に運営審議委員会がありますので、そこには市町村長も入っていますのでその内部での調整はされているものだと思います。私どもでは分かりません。

Q 分かりましたけど、旧村上市であれば今の位置が良いと、駅前開発やら様々なことを考えてのことだと思うのですが、私らのように厚生連からちょっと遠い場所に来ますと高速道路が延伸する関係で、車社会、道路から直ぐに入れるような場所の選定の方が救急体制とか一般的な人が入るには好都合なんじゃないかと思うわけです。お年寄りの電車を使う人のことも考慮すれば、シャトルバスのものも考えられるのではないかと思います。ぜひその辺の提案で、交通の便利のいい場所を市長のほうに進言していただきたいと思います。

委員長 貴重なご意見でありますので、この地域医療調査研究特別委員会で最終的な取りまとめの際にそういったことも踏まえて、最終報告をさせていただきたいと思っています。

Q 医師の確保について、具体的にどのようなことで医師の確保の対策をしていくのか。資料の中にもありますが、地元地区出身の医学部の卒業生ですか、これを着眼点に置いているのは分かるのですが、どのような方法で地元出身者の方々の優秀なそういった、将来医師になるという方々がいると思いますが、どのような方法でそれらの方々に対処していくの

か。具体的に何かあればお尋ねしたいと思います。以上です。

委員長

医師の確保については全国的にも、特に過疎地の方が医師不足ということで、これは国の大きな課題であろうと思っています。今朝の新潟日報にも掲載されていましたが、泉田知事が新潟県に医師の学校というか、大学というか医師を育てる学校をつくりたいと掲載されていましたが、特別委員会の医師の確保策についてはあくまでも中間報告でのまとめですが、徳洲会病院を誘致した際にぜひこの地域からということで、いろいろと（地元）の医師に当たった経過があります。そういうことでそういった人たちも含めて医師の確保を進めなければ、この地域にはなかなか、東京から直ぐ来てくださいと言ってもできないということもありますので、このことについては、幅広く、県、村上市はもちろんですが国の動向を見ながら当特別委員会の最終案の取りまとめを行いたいと考えているところです。

Q

今回の提言のところにも記載されていますが、病気にならないための日頃からの健康管理についてということで、医師も必要ですまた病院も必要です。しかし、病気にならない体制づくりが最も大切だと思います。私も行政にいた当時から保健師さんも重要だけれども、もっと重要なのは栄養士を配置すべきではないかということ提言してきたところですが、なかなか取り入れていただけないというのが実態でした。そういった意味で、学校給食とかそういったところでは栄養士さんが活躍されていますが、一般の方にそういった指導をもっと徹底していただいた方がよいのではないかと思います。それから、この歳になりまして軽スポーツをやりたいということで現在グラウンドゴルフに凝っていますが、冬場は別として、春から秋にかけての天気の良い日には屋外に出て軽スポーツができる。あるいは、休む場所があってもよいのではないかと考えます。昔は児童公園とかそういったものがありました。今それが逆でお年寄りが気楽に行ける場所が必要だと痛感しています。その中の一点として多目的広場、野球場なんかもスポ小なんかでは使っていますが、現在野球人口が減っていますのでそれ以外にあんまり使っていないというのが実態です。ですからグラウンドの中の方に芝を植え込んでもらって気楽に休める、あるいは遊べる場所を整備することも重要なことではないかと考えていますので、同感されるところがあれば推奨していただきたい。

Q

一点は村上病院の新築を一日でも早くお願いします。もう一点は病院の経営というのは大変厳しいものですから、公設民営という運営スタイルがありますが、これらについて特別委員会の中で研究した経過がありましたらお願いします。

委員長

今お尋ねの研究は現在やっていません。

Q

今の病院の件ですが、平成20年まで私も厚生連の県の方の理事を下越の方の代表としてやっていまして、この病院建設にはいろいろと携わっ

てきたということで、議員の皆さんがいらっしゃるんですが、ちょっとコメントさせていただきたいと思います。厚生連というのは私立病院となっていますが、県の方の位置づけとしては、県立病院あるいは長岡の方の日赤病院それに厚生連病院というのが同一の位置づけであるという、いうなれば公共病院というような考えを持っております。これを認識してもらい対応してもらっていました。それで、病院の建設については、佐渡総合病院の次に村上総合病院というスケジュールになっていましたけれども、佐渡が病院の建設予定地から史跡が非常に出るというようなことでたびたび変更になっていました。そんなことで、もし佐渡ができないのであれば、延期されるようなことがあれば我々の方を早くしてもらったらどうですかというような話しをして、現在の会長の萬歳さんもそれでいいというような了解を得ていました。それともう一つ、県の組合長会の新潟みらいの組合長さんですけれども、同じ意見でした。村上総合病院の建設は住民の皆さんの要望と申しますが、後押しが非常に大きな力となってこれが建設に向けた原動力になっていくと考えています。それからもう一つは医師の問題ですが、厚生連は新潟大学と非常に連携を強くしてまして、第一に新大から医師を派遣してもらうということ、それともう一つは上越地区については富山医大から医師を派遣してもらうといった約束というか、そういうものがあつたと伺っています。ただ、平成10年くらいでしょうか医師の研修医制度が非常に変わりました、出身の学校の地区で研修を受けるということになっていましたが、それが全国どこでも研修を受けて良いということになりましたので、大学卒の医師の資格を取った先生がほとんど大都市に集中するというようなことで、これが非常に大きなネックになっています。そんなことで、住民の皆さんの後押しというのが非常に大きな力となると思いますので、ぜひ一つ終末期医療もそうですが、1次医療ということで皆さんも盛り上げていただきたいと思います。大変長くなりましたがそんなことで一つ。

委員長

貴重なご意見をいただきましたので、持ち帰りまして特別委員会で調査研究し、明日も村上、朝日まだ残っていますので、いろいろな市民のご意見を拝聴しながら、最終的に住民の医療の充実に向けた提言をまとめたいと思っておりますので今後ともご指導くださいますようお願いいたします。大変ありがとうございました。